

伸・魅力通信

子供を『伸ばす』幼小中一貫

本年度は、袋井あやぐも学園の「魅力ある幼小中一貫校づくり」の2年目です。昨年度の取組を振り返り、新たな仕掛けを考え、幼児・児童・生徒を**伸ばしていく**年です。さらに「主体的に考えたり、次の学びを求めたりする子の育成」を目指し、授業づくりの取組も始まります。

袋井あやぐも学園の幼児・児童・生徒の 魅力をさらに**伸ばす**ための土台

- 学園教育目標:「夢を追い続ける子供の育成」
- 学園経営目標:「幼小中一貫カリキュラムにより自主(Iの力)と協同(We の力)を育成する学園」
- 共有する子ども観:「自己有用感」「主体性」を高める
- 共有する方法:「聞く指導」「ボイスシャワー」

袋井あやぐも学園の全職員が学園カリキュラムを理解し、一貫研を通してつながり、一丸となって全ての幼児・児童・生徒がさらに魅力を**伸ばしていける**ような一年にしていきたいと思います。

令和3年度の袋井あやぐも学園も

保こ幼小中が手を取り合い

つながる



※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「デジタル職員室→掲示板→袋井中校区」の中にある「H28 魅力通信」「H29 新・魅力通信」「H30 真・魅力通信」「R1 進・魅力通信」「R2 深・魅力通信」をご覧ください。

学園教育目標 夢を追い続ける子供の育成

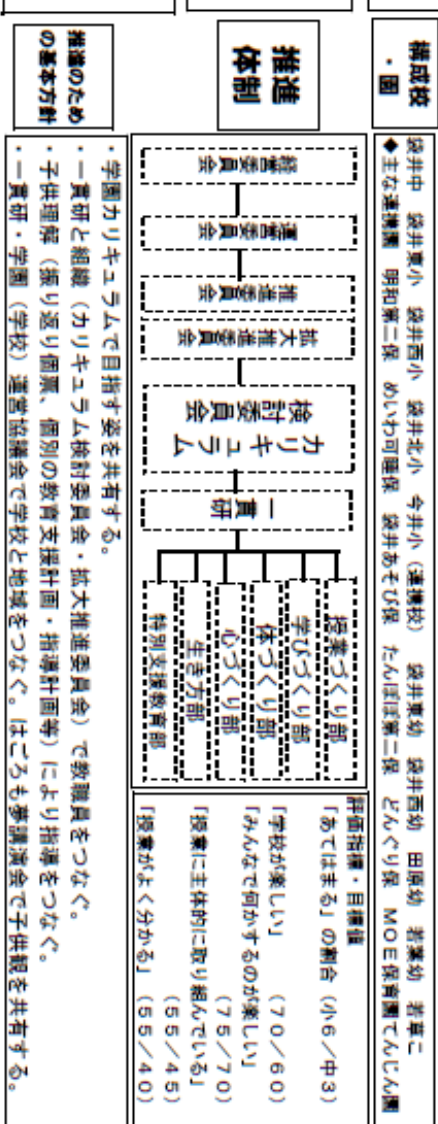
「自主（自立力）」学習や生活、諸活動のそれぞれに目標を立てて、実現に向かう努力を怠らず、自分を鍛え続ける姿「協同（社会力）」集団の一人員として自分の役割を自覚し、人のために一生懸命命を流す姿

学園が目指す子供像

「自主（自立力）」学習や生活、諸活動のそれぞれに目標を立てて、実現に向かう努力を怠らず、自分を鍛え続ける姿
 「協同（社会力）」集団の一人員として自分の役割を自覚し、人のために一生懸命命を流す姿

学園経営目標

幼小中一貫カリキュラムにより
 自主（Iの力）と協同（Weの力）
 を育成する学園



施設分離型幼稚園・小中学校をつなげる
 「共有する子ども観」と「手立て」

一貫性を持たせた教育指導・取組の要点
 (6つのアクションプラン)

授業づくり

主体的に考えたり、学びの共通しがある経験設定
 思考を働かせる時間の設定
 次の学びを求めたりする子の育成

学びづくり

授業の中で「話す」「聞く」を大切にするとともに、
 家庭学習を工夫することにより、
 主体的に学習する態度を養う。

体づくり

「体を動かすことを楽しむ子」を育てることを通して、
 良好な人間関係を築く
 力や目標に向けて努力し続ける力を育てる。

心づくり

「静をつくる」「温をつくる」という活動を通して、
 規範意識や思いやりの心を育てる。

生き方

「働く喜び」や「住みよいまち」の視点で人のために
 尽くす力を育てる。

誰もが十分に力を発揮できる教育環境を目指し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用することで、児童生徒の自立力・社会力を育てる。

子ども一人一人にとって「魅力ある学校・園づくり」(絆・居場所づくり)

聞く指導・ポインスマシー



特別支援

誰もが十分に力を発揮できる教育環境を目指し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用することで、児童生徒の自立力・社会力を育てる。

児童生徒の状況	支援の方向性	具体的な支援内容
発達障害	学習や生活の自立を支援	個別の学習計画の作成、学習環境の調整、生活リズムの指導
情緒障害	情緒の安定を支援	情緒安定のための活動、個別の指導計画の作成
知的障害	学習の理解を支援	学習内容の調整、個別の指導計画の作成
身体障害	学習環境の整備を支援	学習環境の調整、個別の指導計画の作成
経済的困難	学習機会の確保を支援	学習機会の確保、個別の指導計画の作成
社会的困難	社会的スキルの育成を支援	社会的スキルの育成、個別の指導計画の作成